

神戸市保健医療審議会

平成 25 年度第 3 回保健医療連絡協議専門分科会議事録

1. 日 時 平成 26 年 2 月 12 日 水曜日 14:00～14:50
2. 場 所 神戸市医師会館 3 階 市民ホール
3. 議 題 病院開設許可事務に係る意見について
 - ・医療法人社団 慈恵会 新須磨病院診療所病床設置許可事務に係る意見について
 - ・医療法人社団 敬生会 西北ハートクリニック（仮称）

事務局より、定足数の確認（19 名中 16 名の出席で有効に成立）、資料の確認。

【病院開設許可事務に係る意見について】

事務局より資料 3 に基づき病院開設許可事務に係る意見について概要説明

【病院開設事前協議書の説明（新須磨病院）】

新須磨病院より資料 4 に基づき病院開設事前協議書の概要説明

〔質疑等〕

●副分科会長

3 点、お聞きしたい。今後、新しい医療機器を導入の上、特に力を入れる分野はあるのか。また、在宅医療にかかる後方支援病院としての院長の想い、さらに、駐車場の拡張についてお聞きしたい。

○開設者

新しい医療機器につきましては、ガンマナイフの移設が一番大きな工事になると思っている。また、MRI 2 機、CT、アンギオ装置の新規入れ替えを予定している。

当院は創傷センターといって、足の救済治療を広域でやっているが、その治療をするための高圧酸素室を設け、救済治療にも注力したいと考えている。

在宅医療に関しては、現病院のそばに「もみじ訪問看護ステーション」と在宅介護をやっているステーションがあるが、これらの機能を拡充した上で、現病院跡地に移転する。

また、当院はコミュニケアアクセスセンター（CCAC）というものを開設しており、地域に根差した在宅医療や行政の窓口になっている。今後とも地域と連携をとりながらやっていかなくてはならないと考えている。

駐車場は、新たに開設する病院に約 60 台を確保している。さらに、別に 40 数台分の駐車場を確保している。合わせて 100 台程度の駐車場を確保する予定である。

●委員

貴院は高度な救急医療を行う反面、在宅高齢者の入院等、地域に根ざした医療も行っているように思うが、今後もそういった医療を提供されるのか。

○開設者

そのとおりである。地域に根差した医療を提供しつつ、広域的な医療についても特色を出しながら提供したいと考えている。

●委員

在宅医療を推進する上で、訪問看護も、今後、医療と介護を結ぶ中で非常に重要だと思う。現在、訪問看護ステーションが 2 つあるとのことだが、どのくらいの方々の利用を見込んでいるのか。

○開設者

詳細については把握していないが、病院の近くにある「もみじ訪問看護ステーション」は、去年より訪問介護を始めており、今、どのくらいの方のお世話をしているか把握していない。

また、もう一方は須磨の北地区に「北須磨訪問看護ステーション」があるが、こちらの施設の職員は、リハビリ、非常勤も含めて 20 人ぐらいの職員で運営している。

以上のように須磨の南と北で在宅医療に取り組んでいるところである。

●分科会長

工事期間はどのくらいか。

○開設者

約1年半を予定している。3月に着工し、来年7月か8月に引き渡しを受けて、9月頃に移転ができればと考えている。

【診療所床病設置（増床）事前協議書の説明（西北ハートクリニック（仮称））】

西北ハートクリニック（仮称）より資料5に基づき診療所床病設置（増床）事前協議書の概要説明。

〔質疑等〕

●分科会長

医師3名の診療科目は循環器か。

○設置者

全員、循環器である。

●副分科会長

救急医療もされるのか。

○設置者

地元の住民の方の要望も受けて、まずは、地元の地域医療を優先して行い、救急に関しては地域医療ができた時点で考えたい。

●副分科会長

この地区は、周りに住宅がないのではないか。

○設置者

押部谷高和地区は、住宅世帯において100世帯ほどしかない。押部谷地区全体でも、主な交通手段が自家用車となっており、押部谷地区全体の来院を見込んでいる。

●副分科会長

現在、押部谷地区の方々は、どこの病院に行っているのか。

○設置者

大きいところでは、西神戸医療センターになると思うが、近くにクリニックがなく、かかりつけ医等はないと思われ、どちらかの医療機関に偏って集中しているということはないさそう。

●副分科会長

将来的に、介護施設の併設は考えているのか。

○設置者

考えていない。

●委員

救急に関しては近所の人は診るということか。

○設置者

西区や垂水区の救急医療体制が不十分ではないと聞いており、救急医療に関しては、高和地区に限らず、要請があれば全域から受ける体制を作りたい。

●委員

救急はやるのか。

○設置者

やる。

●委員

それから、CCUが5床、看護師が14人となっているが、14人の看護師で5床のCCUを担当するのは大変ではないか。CCUは診療点数（特定集中治療室管理料）の算定のために設置しているのか。

○設置者

便宜上、状態の悪い患者のためのスペースとしてCCUという名前をつけているだけであり、診療点数の加算をしようとは考えていない。そもそも、特定集中治療室管理料は病院以上でないとできないものである。

●委員

どういうルートで患者さんを集めるつもりなのか。

○設置者

西区の医師会長とも何度もご相談させていただいており、西区の開業医の方々からの紹介を得て、当院で検査等を行いたい。また、当然であるが、地元の高和地区の方々の診療も行う。

●委員

循環器の病院というと、西神戸医療センターがあるが、他には大きな病院があるのか。病院との連携が必要になると思うが。

○設置者

現状、大きな病院は西神戸医療センターだけだ。診療所開設後は、連携のお願いにありたいと考えている。

●委員

リハビリは考えていないのか。「心臓リハビリ」のような機能を持たないと、有床なので、難しいのではないか。

○設置者

リハビリを行うスペースはある。患者により、一時的にリハビリを行う可能性はあるが、リハビリを重視して運営をしようとは思っていない。

●分科会長

全国的にハートクリニックという名前の医療機関はあるが、それらと似たようなイメージなのか。

○設置者

他のハートクリニックは著名な先生を呼んで開業したりしているが、当院はあくまで地域医療を優先しており、循環器内科とするかハートクリニックとするかで、西区医師会とも相談した上で、ハートクリニックとした。

●分科会長

患者さんとしては、虚血性の心疾患や高血圧等を想定しているのか。

○設置者

はい。その他に、地域の方々の風邪等も診させていただく。

●委員

高齢化社会なので高齢者の慢性の心不全等が多いと想定されるが、リハビリがないのであれば、他の医療機関との連携はしないのか。

○設置者

押部谷地区は65歳以上の高齢者が多いところであり、我々としては、リハビリを行うス

ペースは確保できているので、将来的にご要望等があれば、臨機応変に対応させていただく。

●委員

当直体制はどうするのか。

○設置者

常勤医師 3 名に加え、非常勤・当直の医師、計 5 名を予定している。

●分科会長

どこかの大学と連携しているのか。

○設置者

関西医大からご推薦をいただいている。

【意見交換】

・新須磨病院について

●分科会長

それでは、新須磨病院についてはいかがでしょうか。特に意見がなければ、手続きを進めさせていただきます。

(異議なし)

・西北ハートクリニック（仮称）

●分科会長

次に、西北ハートクリニック（仮称）についてはいかがでしょうか。

●副分科会長

周辺に住人が少ない地域であり、若い先生が希望をもって開設されるということだが、当該区である西区医師会との定期的な懇談や、西神戸医療センターの地域連携室との話し合い等、第三者との連携が必要だと思う。

●委員

周辺に、西神戸医療センターのような総合病院以外で循環器を対象とするような医療機関はあるのか。

●副分科会長

ないと思う。

●分科会長

地域連携について、事務局は何か聞いているか。

○事務局

具体的には聞いていない。地勢的に、西神戸医療センターが最寄りの総合病院になるが、

近隣の医療機関と連携について話し合いをするよう、意見として付与することも可能です。

●委員

看護師の確保も大変だと思う。

●委員

CCUが5カ所あることを考えると、設備に対し、人員が少ないかもしれない。

●分科会長

それでは、意見としては、医師会との連絡を密にし、西神戸医療センターとの連携を強化する、というところか。

○事務局

西区医師会からの意見書にもあったように、農地転用や開発許可にかかる手続きがクリアされることも、付け加えてはと思います。

●分科会長

それでは、以上の意見を取りまとめ意見書を作成する。最終的には、私と本庄副分科会長で確認をさせていただくが、よろしいか。

(異議なし)

●分科会長

それでは、保健医療連絡協議専門分科会を終了する。

○事務局

ありがとうございました。本日いただいたご意見等は、分科会長・副分科会長と相談しながら意見書案を作成し、その後、委員全員のご了解をいただいた上で、兵庫県に保健医療連絡協議専門分科会の意見として提出させていただきます。

閉会 午後2時50分